

## 6月の行事予定

- 24日(水) 薬物乱用防止ヤング街頭キャンペーン
- 25日(木) SC来校
- 27日(土) 土曜日学習
- 28日(日) 全商簿記実務検定

## 7月の行事予定

- 1日(水) 午前中授業・緑化事業完成式典
- 2日(木)～8日(水) 期末考査
- 3日(金) 鼓山祭パート分け①②
- 5日(日) 全商ビジネス文書実務検定
- 8日(水) 授業評価・社会貢献活動
- 10日(金) 漢字検定
- 11日(土) 進研記述
- 12日(日) 進研記述③  
全商ビジネスコミュニケーション検定
- 14日(火)～16日(木) インターンシップビ②
- 15日(水) 漢字テスト
- 16日(木) SC来校
- 17日(金) 終業式・クリーンデー
- 21日(火)～31日(金) 夏季補習普  
三者懇談
- 21日(火)～23日(木) インターナショナルウィーク
- 24日(金) 校外学習普①
- 25日(土) 部活動講習会
- 28日(火)～31日(金) 社会貢献活動①②

※表記 ①：1年生 ②：2年生 ③：3年生  
SC：スクールカウンセラー

## 球技大会

6月9日(火)に1学期球技大会(バレーボール)が行われました。天候が心配されましたが、当日の朝早くからグラウンド整備やコート設営にたくさんの人が協力して行ったおかげで、グラウンド・体育館・スポーツセンターの3会場で白熱した戦いが繰り広げられました。午前は各学年でリーグ戦(頼山カップ)を、午後は各学年1位によるトーナメント(鼓山カップ)を行いました。



鼓山カップでは男子22Aチーム、女子は22Cチームが見事優勝を果たしました！



## 試合結果

### 鼓山カップ

男子優勝 **22A** 女子優勝 **22C**

### 頼山カップ

男子優勝 1年11A 2年22A 3年31A

女子優勝 1年13A 2年22C 3年32A

※2学期の球技大会は1・2年生はハンドボール、3年生は男女混合バレーボールです。



## 土曜日学習に 参加しよう！

土曜日の午前中に1コマ70分(1日3コマ)の講座が開かれています。考査対策や模試対策、普段の授業を補うための基礎講座からビジネス科の検定対策まで多様な講座があります。自習室も使うことができるので、積極的に参加しましょう。



# 芸術鑑賞会

5月21日(木)、勝山文化センター内ポンテホールにて芸術鑑賞会が行われました。今年度は“オペラシアターこんにゃく座”によるオペラ「ねずみの涙」でした。

「西遊記」の芝居をしながら旅を続けるテンジクネズミの‘天竺一座’。そのネズミたちが戦争のなか生き抜いていく姿を、笑いあり、涙あり、そしてご当地ネタまで盛り込んで上演していただきました。日本語による歌詞の歌と、ピアノと打楽器のみというシンプルな演奏で、「オペラ」という形式にもかかわらず非常に親しみやすい作品でした。中間考査最終日の午後という日程でしたが、テストの疲れを感じさせないほど、生徒は夢中になって鑑賞していました。

来年度の芸術鑑賞会は古典芸能の予定です。日本の伝統にふれる良い機会です。お楽しみに。



## 生徒総会

5月27日(水)、生徒総会が開催されました。

今回の生徒総会では、生徒会執行部が中心となって、勝山の生徒として目指していくべき姿として「岡山県立勝山高等学校生徒憲章」が提案されました。生徒憲章は、全校生徒の95%以上の挙手によって承認・採択され、地域に誇れる学校であれという熱い思いの感じられる総会となりました。

これからも生徒会執行部を中心として、実りある生徒会活動が行われていくことを期待します。

## 吹奏楽部定期演奏会

6月7日(日)に吹奏楽部の第10回定期演奏会が勝山文化センター・ポンテホールで開催され、500名を超える方にご来場いただきました。吹奏楽、アンサンブル、ポップスの3部構成で行われたステージでは演奏はもちろんのこと、劇やダンス、歌など盛りだくさんの内容に会場は笑顔と感動に包まれました。



## 夢現プロジェクト

始動!

夢現プロジェクトとは、勝山高校のキャリア教育プロジェクトです。

5月27日(水)5校時に1年生を対象とした、夢現プロジェクトガイダンスを行いました。夢現プロジェクトはこれから3年間かけて行われます。進路選択につながるよう、しっかり取り組んでいきましょう。

その第一歩として、6校時に地域を学ぶための講演会が開かれました。真庭市総合政策部総合政策課の河本直貴さんを講師にお招きし、真庭市の地方創生についてご講演いただきました。真庭市のまち・ひと・しごと創生について、特に人口推移についてお話しをいただきました。さらに、真庭市の地域資源を生かした市民主体の取り組みである“市民会議”についても詳しくご説明してくださいました。

今回の講演を聞き、「もっと若い人たちが増えていこうな真庭にしたい。」「真庭全体を盛り上げるには、まず“自分から行動”をする！」(レポートより抜粋)と思いを述べています。これから真庭のことをたくさん学び、体験し真庭の将来について考えていきましょう。

